※令和３年度以前入学生用

学校番号	3018

令和５年度　福祉科

教科	福祉	科目	介護実習	単位数	５単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「介護実習日誌」（自主教材）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

校内の各福祉科目を通じて学んだ介護知識・介護技術を基礎として、実際の介護現場で介護職員の指導のもと利用者にとってよりよい介護方法について学んでいきます。

①特別養護老人ホームなどの社会福祉施設での実習に対して、主体的に参加し、職員の方から利用者の方一人ひとりに応じた介護技術を積極的に学び、実践しましょう。

②国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。

③介護福祉士の合格をめざして主体的に家庭学習を行い、単に知識を身に付けるだけではなく、実践的で体験的な学習活動で得た知識や技術を活用して、介護現場の状況に応じた判断力や実践力を身に付けましょう。

④６月に１０日間、７月に１０日間の集中授業となります。

⑤新型コロナウイルス感染症予防対策により、高齢者施設での実習を校内での実習に代替して実施する場合があります。

２　学習の到達目標

介護に関する体験的な学習を多様な介護の場において行い、知識と技術を統合させ、介護従事者としての役割を理解させるとともに、適切かつ安全な介護ができる実践的な能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	多様な介護現場や介護福祉士について関心を持ち、介護を必要としている人の気持ちに寄り添った援助ができるよう、主体的に取り組むとともに実践的な態度を身に付けている。	サービス利用者一人ひとりの生活における諸問題の解決に向けて思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに、介護福祉士として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	介護を実践する際に必要な尊厳の保持や自立支援の観点に立った基礎的・基本的な技術を統合し、介護職員の指導のもと根拠にもとづいて安全に支援できる技術を適切に活用している。	サービス利用者一人ひとりの生活や個性を尊重した基礎的・基本的な知識を統合し、高齢者や障がい者の尊厳保持や自立支援による適切かつ安全な介護の基本を理解している。
価方法	・施設実習への参加 ・実習中の態度 ・実習日誌 ・振り返りシート ・施設実習でのカンファレンス	・介護技術の実践 ・実習日誌 ・振り返りシート ・施設実習でのカンファレンス	・介護技術の実践 ・実習日誌 ・振り返りシート	・介護技術の実践 ・実習日誌 ・振り返りシート ・施設実習でのカンファレンス

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	Ⅰ 施設実習(特別養護老人ホーム・介護老人保健施設　10日間)	Ⅰ 施設実習(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、6月10日間) 1 介護従事者としての身だしなみ・言葉遣いなどのマナーについて	○		○		a:職員の方や利用者の方に対して、挨拶や敬語を用いたコミュニケーションを主体的に図ろうとしている。 c:介護従事者としてのふさわしい身だしなみ、言葉遣いなどのマナーを身に付けている。 d:敬語を用いたコミュニケーションについて理解している。	・施設実習への参加 ・実習中の態度 ・介護技術の実践 ・実習日誌 ・振り返りシート
		2 施設の概要や生活支援目標・理念について		○		○	b:実習施設の概要や生活支援目標・理念について理解を深め、工夫している点や重要視している点を考察している。 d:実習施設の概要や生活支援目標・理念について理解している。	
		3 施設の日課について	○		○		a:施設の日課について、興味や関心を持ち、５分前行動を心がけている。 c:施設の日課をふまえて、次の行動を考えて実践できる。 d:施設の日課について理解している。	
		4 介護福祉士の役割について	○	○			a: 介護福祉士の仕事について興味や関心を持って主体的に質問し、介護福祉士の役割について探究しようとしている。 b:介護現場での見学を通じて、介護福祉士の役割について考察し、表現することができる。 d:介護福祉士の役割について理解している。	

※令和３年度以前入学生用

		5　利用者とのコミュニケーションについて		○	○		a: 利用者とのコミュニケーションを主体的に図り、利用者一人ひとりに応じたよりよいコミュニケーション方法について探究しようとしている。 b:利用者の気持ちを考察し、工夫してコミュニケーションを図ろうとしている。 c:介護職員の方々が実践する基礎的なコミュニケーション技法を見学し、適切に活用している。 d:高齢者の趣味や関心に応じた話題を理解している。	
		6　利用者の人権やプライバシーを尊重した介護について		○	○		a: 利用者と主体的に関わり、人権やプライバシーを尊重した介護について探究しようとしている。 b:利用者の人権やプライバシーを尊重した介護について考察することができる。 c:介護職員の方々が実践する利用者の人権やプライバシーを尊重した技能を見学し、適切に活用している。 d:利用者の人権やプライバシーとは具体的にどのようなものかを理解している。	
		7　介護技術の見学・実践について			○	○	a:介護職員の介護技術について主体的に見学や実践を行い、わからない点は質問し、探究しようとしている。 b:介護職員が実践している介護技術について、「なぜ」という視点を持って考察することができる。 c:介護職員の方々が実践する利用者にとって安全・安楽な介護技術を見学し、適切に活用している。 d:特別養護老人ホーム等での基本的な介護（入浴・食事・移動介助）の目的について理解できている。	

※令和３年度以前入学生用

		8　利用者の情報収集の図り方	○	○			a:担当利用者に興味や関心を持って情報収集を行い、よりよい介護に向けて探究しようとしている。 b:担当利用者の気持ちを考察し、工夫して情報収集を図ろうとしている。 c:実習の様々な場面で利用者に関する情報を収集し、適切に選択し、活用している。 d:コミュニケーションや観察、ケア記録など情報収集の方法を理解している。	
		9　記録の仕方～実習日誌～		○	○		a:　一日の活動を振り返って、最後の行まで記録し、自らの学習内容について探究しようとしている。 b:介護職員が実践している介護技術について、「なぜ」という視点を持って考察することができる。 c:実習の様々な場面で利用者に関する情報を収集し、適切に選択し、活用している。 d:誤字・脱字がなく、実習中の経験や学びが記入できている。	
		10　最終カンファレンス		○		○	a:カンファレンスに参加された介護職員のアドバイスを活かして、２年生の実習に向けてよりよい介護について探究しようとしている。 b:特別養護老人ホーム等の 10 日間の実習を通じて、介護技術について「なぜ」という視点を持って考察し、表現することができる。 c:特別養護老人ホーム等の 10 日間の実習を通じて、目標としていた介護技術を身に付けている。 d:特別養護老人ホーム等での基本的な介護（入浴・食事・移動介助）の目的や意義について理解できている。	

※令和３年度以前入学生用

2学期	Ⅲ 施設実習（特別養護老人ホーム・介護老人保健施設 10日間）	Ⅱ 施設実習（特別養護老人ホーム・介護老人保健施設、7月10日間） 1 介護従事者としての身だしなみ・言葉遣いなどのマナーについて	○		○		a:職員の方や利用者の方に対して、挨拶や敬語を用いたコミュニケーションを主体的に図ろうとしている。 c:介護従事者としてのふさわしい身だしなみ、言葉遣いなどのマナーを身に付けている。 d:敬語を用いたコミュニケーションについて理解している。	・施設実習への参加 ・実習中の態度 ・介護技術の実践 ・実習日誌 ・振り返りシート
		2 介護福祉士の役割について	○	○			a: 介護福祉士の仕事について興味・関心を持って主体的に質問し、介護福祉士の役割について探究しようとしている。 b:介護現場での見学を通じて、介護福祉士の役割について考察し、表現することができる。 d:介護福祉士の役割について理解している。	
		3 多職種連携について	○			○	a:介護現場で働いている専門職について興味・関心を持ち、特別養護老人ホーム等におけるチームケアについて探究しようとしている。 b:利用者の方を２４時間３６５日支えるためのチームケアについて考察し、表現することができる。 d:介護現場における多職種連携の重要性について理解している。	
		4 利用者とのコミュニケーションについて		○	○		a: 利用者とのコミュニケーションを主体的に図り、利用者一人ひとりに応じたよりよいコミュニケーション方法について探究しようとしている。 b:利用者の気持ちを考察し、工夫してコミュニケーションを図ろうとしている。 c:介護職員の方々が実践する基礎的なコミュニケーション技法を見学し、適切に活用している。 d:高齢者の趣味や関心に応じた話題を理解している。	

※令和３年度以前入学生用

		5　利用者の人権やプライバシーを尊重した介護について		○	○		a: 利用者と主体的に関わり、人権やプライバシーを尊重した介護について探究しようとしている。 b:利用者の人権やプライバシーを尊重した介護について考察することができる。 c:介護職員の方々が実践する利用者の人権やプライバシーを尊重した技能を見学し、適切に活用している。 d:利用者の人権やプライバシーとは具体的にどのようなものかを理解している。	
		6　介護技術の見学･実践について			○	○	a:介護職員の介護技術について主体的に見学や実践を行い、わからない点は質問し、探究しようとしている。 b:介護職員が実践している介護技術について、「なぜ」という視点を持って考察することができる。 c:介護職員の方々が実践する利用者にとって安全･安楽な介護技術を見学し、適切に活用している。 d:特別養護老人ホーム等での基本的な介護（入浴・食事・移動介助など）について、その介護の根拠を理解できている。	
		7　利用者の情報収集の図り方	○	○			a:担当利用者に興味や関心を持って情報収集を行い、よりよい介護に向けて探究しようとしている。 b:担当利用者の気持ちを考察し、工夫して情報収集を図ろうとしている。 c:実習の様々な場面で利用者に関する情報を収集し、適切に選択し、活用している。 d:コミュニケーションや観察、ケア記録など情報収集の方法を理解している。	

※令和３年度以前入学生用

		8　担当利用者についてのケアプラン作成	○	○			a:担当利用者の興味や関心を持ち、よりよいケアプラン作成に向けて探究しようとしている。 b:担当利用者のニーズを考察し、工夫してケアプラン作成を図ろうとしている。 c:実習の様々な場面で利用者に関する情報を収集し、よりよいケアプラン作成に向けて適切に選択し、活用している。 d:利用者のニーズをふまえたケアプランの作成過程と内容を理解している。	
		9　記録の仕方～実習日誌～		○	○		a:　一日の活動を振り返って、最後の行まで記録し、自らの学習内容について探究しようとしている。 b:介護職員が実践している介護技術について、「なぜ」という視点を持って考察することができる。 c:実習の様々な場面で利用者に関する情報を収集し、適切に選択し、活用している。 d:誤字・脱字がなく、実習中の経験や学びが記入できている。	
		10　最終カンファレンス		○		○	a:カンファレンスに参加された介護職員のアドバイスを活かして、求められる介護福祉士像を探究することができる。 b:特別養護老人ホーム等の 10 日間の実習を通じて、介護技術について「なぜ」という視点を持って考察し、表現することができる。 c:特別養護老人ホーム等の 10 日間実習を通じて、目標としていた介護技術を身に付け、その介護の根拠を説明できる。 d:特別養護老人ホーム等での基本的な介護（入浴・食事・移動介助）の目的や意義について理解できている。	

※令和３年度以前入学生用

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。